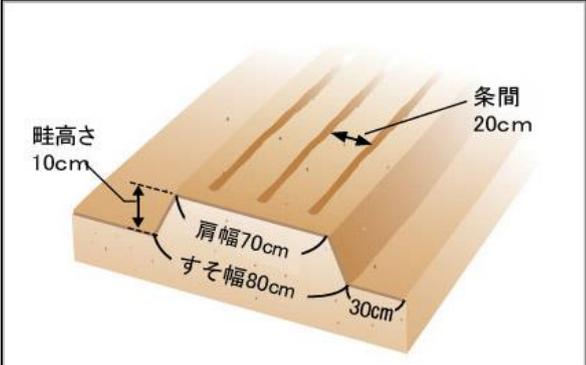


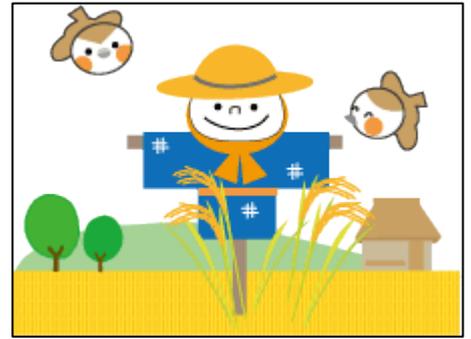
まきどき・植えどき・収穫どき
どきどき情報 9月

～9月の野菜・花きの管理～

| 種まき | 栽培のポイント |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・タマネギ ・ホウレンソウ ・シュンギク ・コマツナ ・ネギ ・地ダイコン ・ラディッシュ ・野沢菜 など | <p>○野沢菜の播種・間引き作業</p>  <p>播種方法の例：サイトみんなの農業広場より</p> <p>野沢菜の播種は9月上旬～中旬に行います。早すぎるとウイルス病にかかりやすく、硬くなりやすくなります。播種の方法は人によってそれぞれですが、一般的にはうね幅70cm程度のクワ幅まきが基本です。種の量は10㎡あたり30～40mmにします。播種後はかん水を十分に行って発芽をそろえるようにしましょう。</p> <p>また、間引き作業は発芽がそろってから本葉が2枚くらいのときが1度目の目安です。2度目の間引きは本葉3～4枚頃に行い、株間10cm程度を目標とるようにしてください。</p> |
| <p>定植（植付け）</p> | <p>播種時期を遅らせ、間引きを徹底し、尿素の追肥と適度なかん水が良質な野沢菜を作るコツです。収穫期は12月下旬頃になります。最終的には株元の切り口が2.5cm（10円玉～500円玉）、草丈60～80cmに仕上げるのが良いでしょう。</p> |
| <p>野菜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レタス（標高500m～700m） ・ハクサイ ・チンゲンサイ ・ニンニク ・イチゴ（促成、半促成） など <p>花き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラナンキュラス ・デルフィニウム など | <p>○野沢菜の品種</p>  <p>一般には市販されている在来種や根こぶ病抵抗品種の「野沢菜信濃」などが栽培されていますが、長野県では加工適正に優れた品質や多収性などの優れた形質をもつ品種を育成しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニューシナノ 多収性でアクが少なく食味が良い品種です。在来「野沢菜」に比べて草姿が立っているため、収穫がしやすいのが特徴です。初期生育が早いので、基肥、追肥の量が少し多めにあげましょう。 ・アントレス アントシアン色素の発現が少ないため、漬け汁の濁りがなく加工適正に優れています。在来「野沢菜」に比べて生育の揃いがよいです。 ・シナノシャッキリナ 軟質系でシャキシャキとした食感とアクが少ない良食味の品種です。葉色が淡く、ブルームが少ないのが特徴です。 |
| <p>○トルコギキョウの温度管理</p>  | <p>6～7月定植の抑制作型は9～10月が開花期となります。9月前半は30℃前後の高温になることがあるため、25℃を目安に換気を行います。その後は急激に温度が下がり、下旬には最低気温が10℃を下回る日も出てきます。最低気温が13℃を下回るようになったら、夜温15～18℃を確保できるよう保温を行いましょう。（ちなみに上田では昨年9月17日に最低気温10.5℃を記録しています。）</p> |

○お米の収穫期～食味向上の決め手は適期刈取り～

9月に入り、水稻の収穫期が近づいてきました。今年は出穂期に台風11号が来襲したため、籾の半分が褐色になる「内えい褐変病」が例年よりも多く発生しています。発生した籾は回復は見込めませんので、品質を少しでも上げるためには「**適期刈取り**」が非常に重要になります。収穫時期が遅れると、胴割れ米が発生しやすくなりますし、**収穫時期が遅れるほど食味が下がる**というデータもあります。収穫時期は、「**登熟積算気温**」と「**帯緑色籾歩合**」で見極めることができます。「登熟積算気温」で大体の目安をつけ、「帯緑色籾歩合」で実際にほ場に入りながら確認するようにしましょう。



○登熟積算気温

出穂期から平均気温を足していった気温です。各地のアメダス地点のデータで簡単に計算できます。コシヒカリは1000℃、あきたこまちは950℃に到達した日を成熟期としています。成熟期5日前から成熟期までに収穫を終えるのが理想的です。

参考までに、コシヒカリとあきたこまちの刈り始め予測日を下に示しておきます（8月25日までは実測の値です。それ以降は平均気温を足しています）。丸子の水田の出穂期は、ほ場によって変わりますが、概ね8月10日程度です。

「コシヒカリ」の刈り始め予測日

| | | 出穂期（全穂数（有効茎数）の50%の穂がのぞいた日） | | | | |
|----|------|----------------------------|------|------|------|------|
| | | 8/1 | 8/5 | 8/10 | 8/15 | 8/20 |
| 標高 | 500m | 9/7 | 9/12 | 9/18 | 9/25 | 10/3 |
| | 600m | 9/8 | 9/13 | 9/20 | 9/27 | 10/5 |
| | 700m | 9/9 | 9/14 | 9/21 | 9/28 | 10/6 |

「あきたこまち」の刈り始め予測日

| | | 出穂期（全穂数（有効茎数）の50%の穂がのぞいた日） | | | | |
|----|------|----------------------------|-----|------|------|------|
| | | 7/25 | 8/1 | 8/5 | 8/10 | 8/15 |
| 標高 | 700m | 8/29 | 9/6 | 9/12 | 9/18 | 9/25 |
| | 800m | 8/30 | 9/8 | 9/13 | 9/20 | 9/27 |

※推定された成熟期の5日前を「刈り始め予測日」としています。

※出穂後の平均気温積算温度による成熟期の予測は目安であり、日照時間、降雨など他の条件の影響を受けます。

○帯緑色籾歩合

青みが残っている籾の割合で、これにより収穫時期を推定できます。畔際から少し田んぼの中に入り、株から一番長い穂を抜き取り、数えてみてください。**10%になったときが刈取り始め**で、**5%になったときが刈取り最適**です。**籾が全て黄色になってしまうと（0%）、刈り遅れを意味します**ので注意してください。



左と右が帯緑色籾
右が完熟籾

あさつゆ連絡

電話番号：0268-41-1062
FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上小農業改良普及センター（岡崎）
電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161